

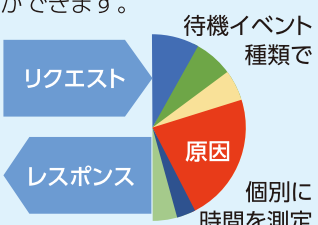
Database Performance Analyzer

データベースのレスポンス分析ツール ~隠れた遅延原因をピンポイント発見~



65%の
パフォーマンスを改善

レスポンス・タイム(応答時間)分析により、データベースの遅延原因を簡単に特定することができます。

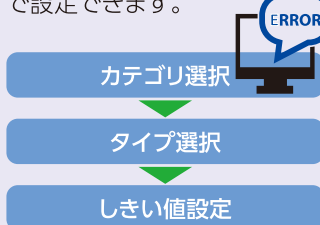


リクエスト
レスポンス

待機イベント種類で
個別に時間を測定

3クリックで
アラート設定を完了

監視対象データベースの登録、管理者が必要とするレポート、アラートを数クリックで設定できます。



カテゴリ選択
タイプ選択
しきい値設定

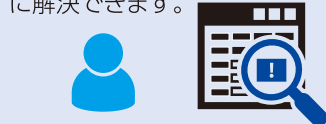
55%の
I/O待ち時間を削減

データベースファイルごとのパフォーマンスを分析しストレージの最適化を実現できます。



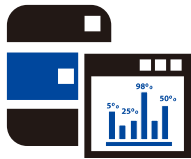
3日間で
6か月かかっていた問題を解決

開発元シニアエンジニアの数千時間の分析を基にしたアドバイザ機能により、問題を簡単に解決できます。



実行時間などから問題のありそうなクエリをピックアップ
ボトルネックの解決例を提示

**3つの視点からデータベースをモニタリング、
根本原因の特定とパフォーマンスの最大化を実現**



- SQL View : **SQL ステートメント・レベル**でのすべての統計
- Time View : リソースが利用された回数ではなく、**時間**を計測
- Full View : 問題の発生源を隔離するために**すべてのリソース**を個別測定

Time View

応答時間の
時系列グラフ



Time View

指定期間内の
クエリ-応答時間



SQL View

クエリ詳細

クエリの詳細情報



Full View

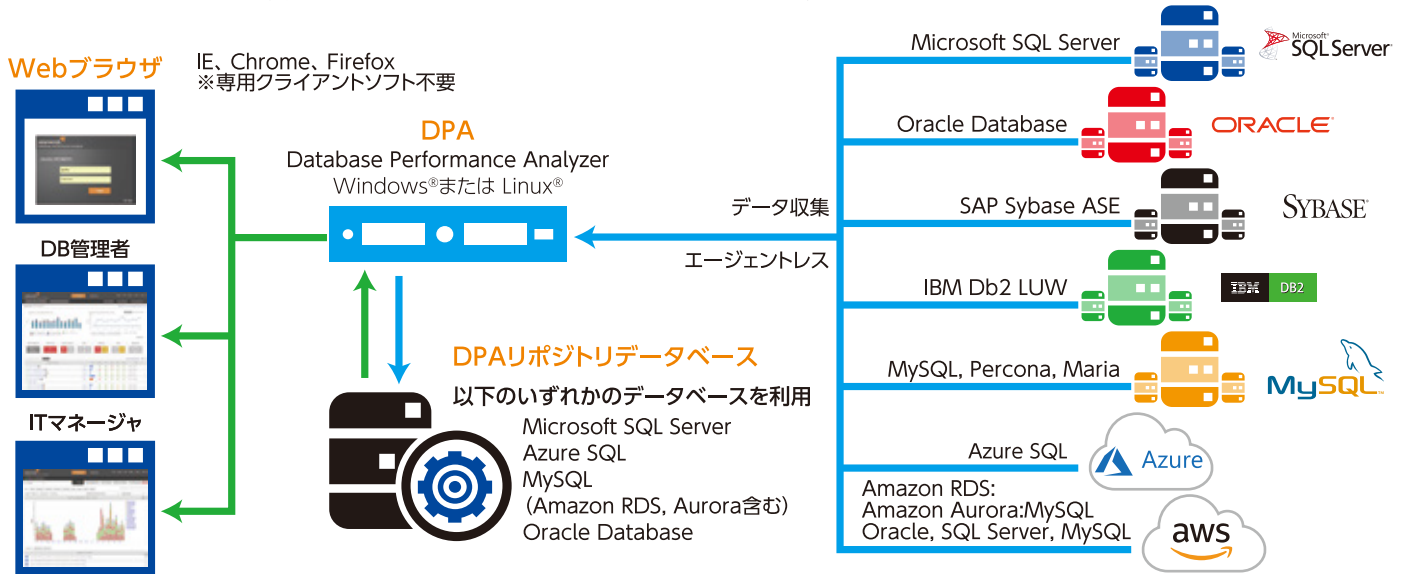
リソース確認

リソースの概要と
解決方法



エージェントレス —監視対象DBにかかる負荷は1%以下—

Database Performance Analyzerは、監視対象のサーバに対してソフトウェアやエージェントのインストールを行わないため、監視対象のデータベースへの負荷は1%以下です。マルチベンダ環境にも対応しており、例えば、MS SQL Server、Oracle、Db2、SAP Sybase ASE、MySQL、クラウドのデータベースを同じDPAサーバでデータを収集し、監視することも可能です。



リソース監視

CPU、論理・物理 I/O、トランザクション、メモリ、ネットワークなどの基本リソースからクエリによる追加メトリックも監視可能



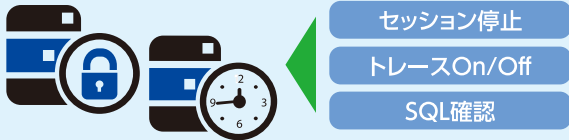
クエリの統計

各クエリの実行統計では、サーバリソースの変化で応答時間がどのように変化したか表示



リアルタイムなセッション監視

パフォーマンスに影響しているセッションに対して迅速な対応が可能



ストレージ I/Oの分析

ストレージのパフォーマンスを可視化し、応答時間への影響を明確化



幅広い対応と仮想環境と連携

Oracleのエディション

Oracleの多数のエディションに対して柔軟に対応できます。例えば、Standard Edition (SE) の場合、データベースの監視として、DPAは最適な組み合わせです。データベース環境のサポートを行えるEnterprise Edition (EE) に対しては、パフォーマンスの根本原因の特定に役立ちます。**Exadata**においても、提供される膨大な情報をモニター上で可視化します。

VMware オプション

DPAでは、VMware ESX/ESXi6.0以降、vCenter6.0以降にそれぞれ対応しています。VMwareのオプションを付与することで、データベース、VMware側、双方のリソース監視が可能です。またデータベースがVMに移行した場合でも、データベースのボトルネックと仮想サーバのリソースが関連付けて可視化されます。そのため仮想サーバとデータベースの問題を切り分けて特定することができます。



Oracle RAC

40種類のRAC固有の待機イベントを用いて、RACノード間でのバランスの悪さや、過度なオーバヘッド、パフォーマンスを低下させる不適切なRAC設定などを特定できます。

Oracle E-Business

E-Business独自のスクリーン、モジュール、ユーザが生成したデータベースへの要求まで監視できます。これにより問題の特定を容易にします。